

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシェット

2024年01月 NO.89

年始から新型コロナウイルスが再び増加しています。辰年は新型コロナウイルスの流行が終息して、子ども達の笑顔と笑い声があふれる年になりますように！



全国的に一部の抗生剤や、咳止め・去痰剤の流通が不足しています。お隣のあんず薬局那珂店でも一部の抗生剤（錠剤・粉薬）や粉の咳止め薬が欠品しています。

この状況は暫く続く見込みです。

咳止めのお薬の処方箋を希望される方には引き続き院外処方箋を発行しておりますが、調剤対応可能な調剤薬局を保護者の皆さまの方でご確認頂くことが必要となりますことを予めご了承ください。

鎮咳剤や去痰剤につきましては大手製薬メーカーの市販薬の方が流通が安定しています。

必要な方は市販薬の鎮咳剤のご使用もご検討ください。

最大震度7を記録した能登半島地震では、多くの方が亡くなられ、いまだ安否不明の方が多数おられます。幹線道路の寸断の他、光回線の切断や蓄電電気の枯渇等により通信障害が長引いていることも、安否の確認や救援復旧活動の妨げになっています。

東日本大震災を経験した私達だからこそできる現地支援を続けるとともに、これを機に私たち自身の防災減災への取り組みをあらためて進めていくことが大切だと思います。

<<どんぐり会 災害発生時の取り組み>>

■ 地震その他の災害により那珂市周辺地域が大規模に被災した際には、通常の予約診療を中断して、被災地域小児救急支援医療に切り替えます。救急支援医療実施の際には非予約制とさせていただきますので Web 予約はご利用頂けません。また、救急支援医療実施の間は 東日本大震災の時と同様に乳児健診や予防接種は一時中止 or 延期させていただきますので、予めご了承ください。



■ 鹿児島県の種子島にある中種子町と『災害発生時における小児医療救護支援活動に関する協定』を締結しています。種子島で大規模災害等が発生した際に中種子町長からの要請にもとづいて医療チームを派遣&支援活動を行います。その際、スタッフの渡航 etc にともない診療を一時休診とさせていただきます。

■ 災害時の通信の確保としては、人工衛星による通信サービス「StarLink」を導入しています。発災ははじめ関係諸機関との通信をこれで確保するとともに、クリニック敷地内で一般の方にも通信を開放することを計画しています。(発災時にはお知らせメールでパスワード等を公開します。メール受信の設定をお願いします。)



<<溶連菌感染症>>

主に“のど”に感染して、咽頭炎や扁桃炎といった病気を引き起こすことが有名ですが、伝染性膿痂疹(とびひ)や感染誘発性蕁麻疹など、様々な疾患の原因菌として問題になります。症状は発熱(38~39℃)・のどの痛み・頭痛・腹痛・倦怠感があげられます。咳や鼻水は出ないのが特徴です。

幼児や大きなお子さんでは、発熱しない or 発熱しても1日ですぐに解熱してしまうことがあります。

※溶連菌感染症は繰り返しかかることがありますが、大人では倦怠感やのどの違和感などの症状が主で発熱はみられないことが多く、感染したパパやママや保育士さんが知らず知らず子ども達の感染源になっているケースもあるので注意が必要です。

食欲不振・嘔吐(食べたり飲んだりすると吐く)

・下痢(1日5回以内)等の症状で見つかることがあります。

感染後一定期間を経過すると首筋などのリンパ節が腫れたり、舌にフツフツができたり(イチゴ舌)、体や手足に小さくて紅い発疹が出たり(猩紅熱)することもあります。

飛沫感染して2~5日の潜伏期間を経て発症します。

のどのグリグリ検査で診断を確定します。

治療には抗菌薬が用いられます。お薬を飲み始めると1~2日で症状が改善しますが、飲み始めて24~48時間以上経過して、症状がなくなるまでは保育園や学校は出席停止になります。



<<どんぐり会 今年の予定>>

◇ その1

年度内にウイルス及び細菌核酸多項目検査機器 BioFire SpotFire R Panel を導入します。

約15分の検査時間で8種類のウイルスと4種類の細菌の



感染を同時に判定できる新しいPCR検査機器です。インフルエンザウイルス・新型コロナウイルス・コウモリウイルス・パライソウイルス・ヒトエコーウイルス・アデノウイルス・RSウイルス・ヒトライノウイルス/インテリウイルス・マイコプラズマニューモニア・クラミジアニューモニア・百日咳菌・パルボウイルスについて調べることができます。

◇ その2

春を目処に、しろやぎさんのポシェット分室“ねむの木のしたで…”をオープンします。

医療法人社団どんぐり会の社会貢献事業として、ARINKOMURA やしろやぎさんのポシェットの建物やお部屋を使って、小児がんなどの病気とたたかう子ども達のための「こどもホスピス」の活動を行ないます。



◇ その3

11月末から2週間遊びに来てくれた“つくねちゃん”の後任のLOVOTを今春からクリニックスタッフとしてお迎えする予定です。乞ご期待、です。



◇ その4

インフルエンザ予防接種は1月末まで引き続き実施致しますが、昨年末のお知らせメール等でご案内致しました通り、諸般の事情により2024年1月から注射型不活化インフルエンザワクチンの接種料金を一律100円値上げさせていただきます。



<< 鏡開き >>

毎年恒例の鏡開き！開院当初からの験担ぎとして新年最初の営業日の朝に一年の健康と発展を祝って、スタッフみんな揃って樽酒を開きます。

もちろん樽を開くのは年女、年男！

「鏡」は円満を、「開く」は末広がりを意味します。一年の無事を祈りながら振る舞い酒を升でいただいて、さあ、今年も1年、頑張りましょう！



<< 初日の出 >>

あけましておめでとうございます。能登半島地震や羽田空港の事故など年明け早々胸が騒つくニュースが続きました。被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の一日も早いご再建をお祈りいたします。

写真は種子島、東海岸にある熊野海水浴場からの初日の出です。今年、種子島宇宙センターでは、1月12日のH2A



の打ち上げをはじめ、H3ロケットの打ち上げも予定されています。今年こそ、世界中の子ども達が笑顔で夢を語りあえる日々になりますように。

感染症流行状況(2023 12/01~12/31 検査陽性者のみ) 対象: 当院受診者

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	73	82	29	39
手足口病・ヘルパンギーナ	0	0	1	0
インフルエンザA	56	86	54	100
アデノウイルス	6	0	1	0
COVID-19(成人含)	13		8	

“院長先生のおすすめ絵本”



<https://www.fukuinkan.co.jp/kontoaki/>

林明子作の「こんとあき」

砂丘がある鳥取出身の院長先生の三人の子どものうち、長男は“ジャッカル”という名前のキツネのぬいぐるみをとっても大事にしていました。小さい時は、寝る時ご飯の時も、もちろんお出かけの時もいつも一緒でした。大事なぬいぐるみと一緒に過ごして大きくなりました。この「こんとあき」は、まるで我が子とそのぬいぐるみのお話でした。汽車に乗って“さきゅうまち”に行くとこも、裁縫の得意なおばあちゃんも存在も……。息子にとっても「だいじょうぶ、だいじょうぶ」は魔法のことばでした。林明子さんのデビュー50周年に合わせて福音館書店が特設サイトをOPENしました。一度覗いてみてください！「こんとあき」の素敵な秘密がいっぱいです♪



「病児の保育“しろやぎさんのポシェット”」

全国病児保育協議会感染症対策委員会「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が5類感染症に位置づけられた後の病児保育室での対応について」に従って、従来通り、以下の対応を継続させていただきます。

COVID-19 対策として、咳や鼻水などの呼吸器症状や発熱等で病児保育室のご利用を希望される方に対しまして、事前にPCR検査を実施させていただきます。

現在は、当日もしくは前日までにご来院頂き、PCR検査の陰性が確認された場合に限り、病児保育をご利用頂いております。当日朝の検査ですと検査結果の判明に約1~2時間ほどお時間を要します。結果判明まで病児保育室にご入室いただくことが出来ませんので、できるだけ前日までの検査をおススメしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

しろやぎさんのお部屋から

新しい年が始まりました。

今年もしろやぎさんのポシェットのお部屋は、子ども達が安心して楽しく過ごせる場所、笑顔いっぱいのお部屋であり続けられるように、スタッフ一同更にバージョンアップして、心新たにご利用をお待ちしております。

～お正月飾り～

子どもたちとお正月飾りを作りました。今年辰年！

キラキラな台紙にペタペタ辰を飾り、色をつけたり、デザインしたりして、空高く力強く登っていけるように願いを込めて作りました！



～昔遊び、こま！～

お正月遊びで思い出されるのは、こま、凧揚げ等でしょうか。



シンプルだけど、大人も子どもと一緒に夢中になれる遊びがこま回し！です。

しろやぎさんのお部屋では毎年年初にこま作りをしています、自分だけのデザインしたこまや、折り紙やペットボトルのフタを使ったこま、ビー玉やCDROMを使ったこまを作りました。

上手に作ったら、こま回

し大会の始まりです！作ったこまを全部回して出来栄を確認して、誰のこまが綺麗で1番回るか競走です。

小さいお子さんは慣れないうちは回すのが少々難しいようですが、左右の指先で回すことを試してみるとうまく回るようです。

しろやぎさんのお部屋では、これからも、大人と子ども、一緒に作って一緒に遊べる機会を大切にしていきたいと思っています。



病児の保育“しろやぎさんのポシェット”はこちら→



→那珂キッズクリニック小児科
HPはこちら



問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科病児の保育

しろやぎさんのポシェット

Tel : 029-212-5630